

未来開拓講演シリーズ 第2回

# いま博物館が おもしろい



講師：**林 良博**氏 国立科学博物館長

日時：2019年9月19日(木)16:00~17:30

博物館にはいろいろあり、美術館、科学館、動物園、水族館、植物園、プラネタリウムなども博物館のひとつで、日本には5,700もの博物館があります。かつて「博物館入り」といえば、役に立たなくなったモノを意味する悲しい言葉でした。戦争がおわり、平和な時代を迎えた日本では、新しく便利なモノを買い求めようとする国民の熱気はすさまじく、古いモノは捨てられるか、「博物館入り」だったのです。

しかし、わたしが勤務する国立科学博物館（通称：かはく）は、2年つづけて260万人をこえる人びとを迎えました。おりしも今年は、恐竜ルネサンスの始まりから50年目にあたり、10月14日まで特別展「恐竜博2019」が開催されます。イタリアのルネサンス期の天才・レオナルド・ダビンチは、「たえず好奇心をもつ」、「自分の目でみる」、「ふしぎに思うところを純粋な興味からさぐる」（訳：新井郁男）などを大切にしていたといいます。博物館がおもしろく学ぶ場であることに、日本人は気付いたのではないかと思います。

会場：お茶の水女子大学

国際交流留学生プラザ 2階ホール

定員：120名(中高生対象、予約制)

申込：お茶の水女子大学広報担当

申込フォーム：<https://forms.gle/7wgkzt2XdJ6VzMGR8>